

No.250402

研究課題名	少数転移性腫瘍に対する重粒子線治療の効果、予後因子、有害事象の評価
研究目的・方法	大阪重粒子線センターでの少数転移性腫瘍に対する重粒子線治療の成績を求め、有効性と安全性を評価する。全生存期間や局所制御率、無増悪生存率の予後因子を解析することで、治療適応症例を選定する際の基準を最適化する。
研究期間	2025年4月28日～ 2030年3月31日
研究対象者	2018年12月から2025年3月までに当センターで重粒子線治療を施行した少数転移性腫瘍の患者 <適格基準> ・画像検査および臨床検査より診断された少数転移性腫瘍であること。組織学的診断の有無は問わない。 ・切除不能、あるいは切除可能であるが患者本人の手術希望が無いこと。 ・同意取得時の年齢が18歳以上であること。 ・当センターのキャンサーボードにおいて重粒子線治療の適応と判断されていること。 <除外基準> ・消化管内視鏡検査または画像検査にて内腔に突出する消化管浸潤所見がある症例 ・妊娠または妊娠している可能性がある、または授乳中の症例 ・その他、研究責任者・研究分担者が不適と認めた症例
利用する情報	データベース及びカルテに記録されている臨床情報、治療計画の画像等
研究責任者	内田 紘史